





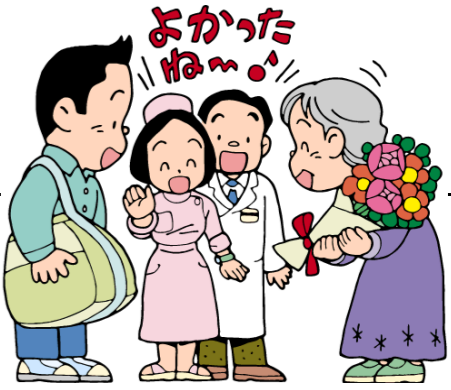











結腸切除術パス(患者用)

病棟 号室 様
 説明年月日: 年 月 日

受け持ち医師: 受け持ち看護師:

項目	月日 入院日～手術前々日	手術前日	手術当日	術後1日目	2～3日目	4日目	5～6日目	7～11日目
検査	手術に必要な検査をします 胸腹部X線検査、血液検査、 尿検査、呼吸機能、心電図、腎臓機能など 必要に応じて検査を追加することがあります (CT、胃、腸の検査など)		手術後、レントゲン検査があります 	血液やレントゲン検査 などがあります	血液やレントゲン検査 などがあります(3日目) 		血液やレントゲン 検査などがあります (6日目) 	(必要に応じて採血などあります) 食事が1/2以上摂取でき、 身の回りのことが自分でできる ようになれば退院です
投薬・点滴	現在内服している薬を確認します 	夜眠れなければ眠剤がです 	点滴をします 抗生物質の点滴をします 手術室で、背中から痛み止めの管を入れます	腸の動き良くする内服薬、鎮痛剤がです 持参薬を開始します(指示があります) 血栓予防の注射をします	背中からの管を抜きます(3日目) 歩けるまで着用します		点滴の管を抜きます (追加治療をする場合は継続します)	退院薬が処方されます 
治療・処置	主治医診察 看護師訪問 感染予防のため一日数回、 うがいをします 	14時頃、腸をきれいにするため に下剤を飲みます * 腸の狭くなっている方は、別 に指示がです	手術予定時間に手術室に入ります (術後) 酸素吸入のマスクをします モニターがついています 腹部に管(ドレーン)が入っています	傷部の観察をします(朝、夕) 診察後はずします				腹部の管(ドレーン)を抜きます
活動・安静度	制限ありません 		ベット上安静ですが、横向きはできます	ベットの上で座る練習、室内歩行、 トイレまで歩行します 血栓予防の器械をはずします		院内歩行、散歩ができます		活動に制限はありません
検温・ 血圧測定など	身長、体重の測定をします 血圧、体温、脈拍の測定があります 		術後、両足に血栓予防の器械をつけます 術後より、適宜測定します					
食事	常食または全粥です * 大腸の狭さの程度により 食事制限をすることもあります	夜から絶食です 夕方から手術日の朝まで OS-1(3本)を飲みます	絶飲食です うがいはできます	水分がとれるよう になります(指示がでます)			食事が開始になります 徐々に量が増えます 	
清潔・排泄など	入浴可	へそをきれいにします 手術する部分の除毛をします	手術時に膀胱に管が入り、自然に尿がです	体を拭いて着替えます	尿管の管を抜きます 尿管を抜去後は尿量を測ってください			管(ドレーン)が抜けたら、入浴できます 尿量は退院前日まで測定します 主治医から病状説明があります この結果で追加治療をすることもあります 最初の外来日を 予約します 
患者様及び ご家族への 説明と指導	看護師から入院生活、病棟の構造、手術に必要なもの (寝巻き、ストッキング、腹帯、おむつ、吸い飲みなど)について 説明があります 	医師から病状、手術について説明があります 手術前日、麻酔医が訪室し診察と全身麻酔の説明があります	手術後、主治医がご家族に説明します 	水分の許可がでたら 飲み方を説明します			食事の食べ方の説明があります 	
備考・メモなど	☆何かわからないことがあれば、医師、看護師に聞いて下さい							

◎入院時、この用紙をご持参ください